

2007年9月10日発行

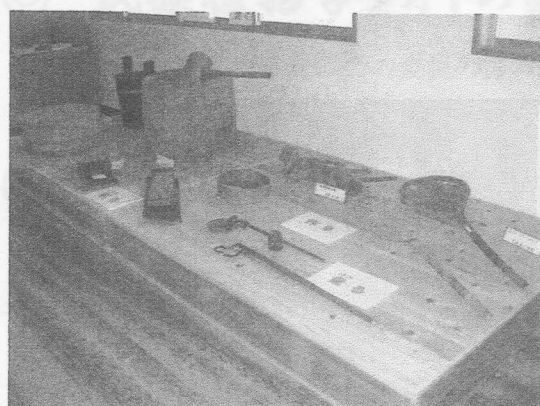
発行人 植物と人々の博物館

◎ 植物と人々の博物館とは何？

日本の伝統的知識体系を学び、健全な心身をはぐくむ環境学習を都市に暮らす人々とともにを行います。山村の豊かな暮らしがいつまでも続くように、自然とつながる生業や暮らしを大切にしたい地域振興を考えます。植物に満ち溢れたエコミュージアム日本村づくりをする生涯学習の場所です。写真は加藤増夫館長はじめ文化財審議委員の皆様から民具についてお話を伺っているところです。



◎ 中央公民館で小菅村の民具を整理して、展示



小菅村の教育委員会が村民の皆様から寄贈を受けた民具の整理と展示を東京学芸大学の教職員・学生がしています。展示室の改修は平成18年度「水と緑の森林基金」の助成で、小菅産の材木を用いて行いました。小林豊三さんが展示棚や台を作ってくださいました。平成19年度には図書室の整備をして、村の皆様や来村の方々に見ていただけるように農林学や植物学など植物関係の本を充実します。9月中には小菅の湯で「雑穀デザイン特別展」を開催します。東京学芸大学の環境プロダクト・デザイン研究室との共同で学生・院生の作品を展示しますので、ぜひ見にお越しください。

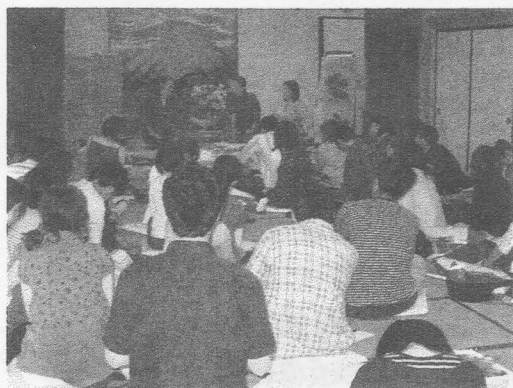
◎ 中心になっているのは誰か？

東京学芸大学環境教育実践施設の教職員、学生・院生や博物館友の会員は小菅村の自然や文化を村民の皆様から学ぶために、授業や実習、講習会をしています。自然文化誌研究会にも協力していただいています。雑穀の菓子づくりや郷土食づくりの実習を公民館調理室でしました。



◎ プロジェクト学習科目「植物と人々の博物館づくり」

で小菅村を訪問



かどや旅館、7月7日

東京学芸大学から 50 名ほどの学生・院生、教職員が実習に来て、守重洋作さんに村の歴史を、木下純子さんと清水利江さんに草木染を教えていただきました。教職員や学生たちの報告書は、植物と人々の博物館のパソコンで見ることができます。参加者は3人の講師のお話に感激し、学生たちの学習意欲がとても高まりました。

◎ 雑穀の商品開発をしました

東京学芸大学がある小金井市の商工会から助成を受けて、小金井パン菓子組合や市民の皆様と小菅の湯の職員の皆様の協力で、雑穀の和洋菓子やパンを試作しました。美味しくできました。小菅の湯物産館で売っています。



◎ 雑穀栽培講習会でアワやキビの在来品種を保存

雑穀栽培講習会を開催して、モロコシ（アカモロ）、アワ、キビ、ヒエ、シコクビエ（サドビエ）、ハトムギなどの在来雑穀品種と栽培・加工・調理法などを保存しています。指導は地元の小菅村、丹波山村、上野原市西原で雑穀を栽培している皆様、奥秋忠俊さん、岡部良雄さん、中川智さんで雑穀栽培技術顧問になっていただいています。



◎ 雑穀の収穫を始めます

小菅の湯下の雑穀栽培見本園ではキビの収穫をします。小金井市の貫井南公民館成人大学講座「江戸野菜を作ろう」に参加している25名ほどの方がバスで、9月10日に民具と畑を見学に来てくださいます。東京学芸大学は小菅村と連携協定を結んでいますので、大学の地元小金井市からもたくさんの方に来ていただきます。



◎ 民族植物学ノオトの第2号を発行します

植物と人々の博物館友の会の会員の方々には10月始めにはお送りします。

◎ 第10回ミューゼス研究会を開きます

11月23日（祝日）に中央公民館で予定しています。小菅村の隣保回覧でお知らせします。エコミュージアム日本村づくりの今後を話し合います。ぜひ、ご参加をご予定ください。

◎ We love Tamagawa いのちをつなぐ138 シンポジウ

ムをします ～多摩川エコミュージアム・ネットワーク・シンポジウム～

東京学芸大学と小菅村の皆様が中心になって準備を進めています。村長さんはじめ大勢の方々をご参加くださる予定です。

学生・市民が一緒になって多摩川をめぐるエコミュージアムに蓄積された知恵を共有し、流域住民に広く伝え、上・中・下流の人々の環境学習活動をつなぎます。このシンポジウムは東京学芸大学の学生、教職員と多摩川流域市民の皆様が一緒に実行委員となって、熱く語り合いながら、手作りで準備しています。さらに多くの学生や市民の皆様が話し合いに参加してくださることを歓迎し、楽しみにお待ちしております。

＜日時＞ 2007年11月17日(土)10時～17時半(終了後、交流会)

＜場所＞ 東京学芸大学 講義棟(S410 ほか4階全フロア)

環境教育実践施設多目的室、彩色園など

＜主催＞ 東京学芸大学地域と連携した環境学習推進委員会・植物と人々の博物館プロジェクト

全体会① 多摩川をめぐるエコミュージアム活動の現場からの話題提供

展示 個人や団体の活動や研究をポスターなどで展示発表し、人々の出会いと活動経験を交流する

分科会 多摩川の自然をめぐる展開されているいろいろな文化活動の経験を交流し、じっくり話し合います。

分科会1:多摩川流域の生き物と川遊び

分科会2:山村の暮らしとむらづくり

分科会3:多摩川流域のまちづくり

分科会4:エコミュージアム・ネットワークづくり

所在地: 〒409-0211 山梨県北都留郡小菅村4581 中央公民館内

現地連絡委託先電話/ファックス: 0428-87-0165

E-メール: npo-inch@wine.plala.or.jp または kimatami@u-gakugei.ac.jp

ホームページ: <http://www.fsifee.u-gakugei.ac.jp/millets/framepagel.htm>